

災害への備え重要性確認

シンポで落語家・桂さん講話

宮崎市

防災減災シンポジウム「複合災害への備え〜私の命は、私が救う〜」は16日、宮崎市の宮日会館であった。国土交通省、宮崎地方気象台、県、宮崎日日新聞社でつくる「宮崎の防災を考える会」主催。来場者約百人が自ら災害に備える重要性を再確認した。

シンポジウムでは防災士資格を持つ落語家の桂枝丸さんが「もしものそなえ」と題し講話した。

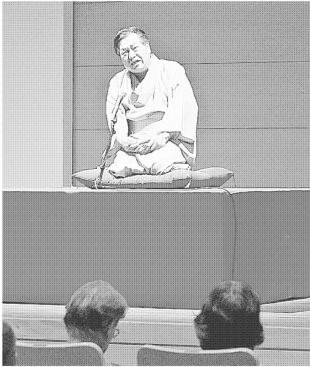
桂さんは、地震の揺れが収まり次第すぐに動けるよう片膝をつき身をかめる

とを見つけてほしい」と呼びかけた。

地域の防災訓練を舞台に繰り広げられるドタバタを題材にした落語も披露し、来場者は軽妙な語り口に聞き入っていた。

同気象台の深畑純一社長、県わけもん防災ネットワーク副代表で宮崎公立大4年の後藤早輝さんによる事例発表もあった。

〓後日、企画特集を掲載〓



のえん日会
桂枝丸さん
を通じて
落語などを
伝える
防災の大切
さを訴え
た

〓16日午後、宮崎市・宮日会館